

令和5年度 タイ国海外研修 マヒドン校 (MWIT) 二校間交流 訪問

コロナ禍で途絶えていた海外校との対面交流が4年ぶりに再開されました。10月には、タイのマヒドン校 (MWIT: Mahidol Wittayanusorn School) の生徒が本校を訪問しました。その交流の様子は次のリンクを参照してください。↓

<https://handa-h.jp/wp-content/uploads/2023/11/d8ac4194507000a0c74579b9556429d2.pdf>

そして、令和6年1月16日(火)～23日(火)の7泊8日の日程で、本校生徒8名(2年生5名、1年生3名)が今度はタイのマヒドン校(MWIT)を訪問しました。

1/16(火)	中部国際空港→スワンナプーム国際空港 MWIT着 オリエンテーション バディとクラブ活動
1/17(水)	朝礼挨拶、タイ王宮およびラタナコーシン展示ホール見学、研究発表会、クラブ活動
1/18(木)	LIXIL Rangsit 工場見学、サイエンスパーク・バイオテック研究所見学、クラブ活動
1/19(金)	マヒドン校の授業参加: 数学、生物、物理、化学、英語、タイダンス、伝統料理等
1/20・21(土)(日)	ホストファミリープログラム
1/22(月)	授業参加: 美術、プログラミング、経済学等、送別会、スワンナプーム国際空港発
1/23(火)	中部国際空港着

マヒドン校(MWIT)のホームページに載っている本校訪問の様子はこちら↓

https://www.mwit.ac.th/html/news_670122/

マヒドン校(MWIT)は、国立のタイで一番の理数科高校です。毎年20,000人の受験生のうち240人が選抜され入学してきます。英語の試験はありませんが、多くの生徒が授業に行くとき英語でもてなしてくれます。日本語も人気で「日本語大好きクラブ」というのもあり、日本語で挨拶をしてくれることもよくありました。毎年10か国ほどの世界中の学校と交換留学をしているそうです。



朝礼で生徒全体に挨拶



タイ王宮とエメラルド寺院



ラタナコーシン展示ホール



リサーチプレゼンテーション質疑応答



発表を終えてホット夕食



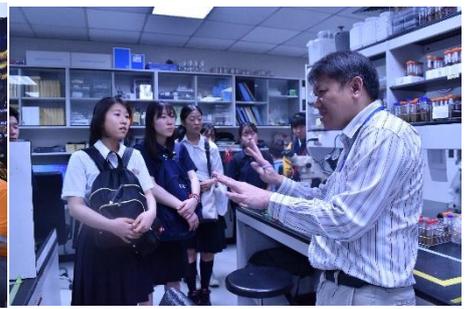
カフェテリアでバディと朝食



LIXIL Rangsit 工場見学



サイエンスパークバイオテック見学



きのこの研究について説明を聞く



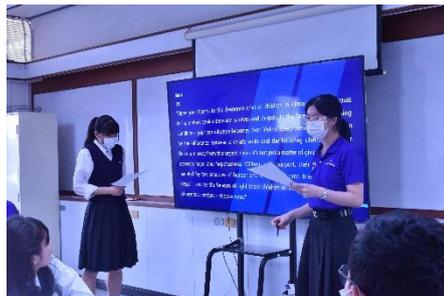
タイの伝統ダンスの授業



化学の実験



授業の成果物



英語の授業でプレゼンテーション



マンゴーなど自然素材のデザート作り



MWITでのタイの僧侶の托鉢風景



タイのスーパーにて色とりどりの果物



ソウルサイエンス高校からも来校



とてもフレンドリーな MWIT 生



数学科の先生と数学科の部屋で



校長先生と副校長先生と共に校長室で



生物主任とオリンピアの受賞歴ポスター

今回の研修はサイエンスフェアとは違って、二校間の交流のためプレゼンテーションだけでなく授業や校外研修、そしてバディや MWIT 生と一日中触れ合う機会があってこれまで以上の交流やタイ・マヒドンへの理解を深めることができました。